

第 2 2 期 新潟市文化財保護審議会 第 2 回会議会議録（要旨）

日時	平成27年3月25日(水) 午後2時～4時
会場	新潟市歴史博物館 セミナー室
出席者	委員 池田哲夫会長, 岩田多佳子, 小田 節子, 栗田 裕司, 橋本 博文, 原 直史, 飛田 範夫, 平山 育男, 松岡 久美子, 森田 龍義副会長, 芳井 幸子
	事務局 歴史文化課長, 同課文化財担当副参事, 同課課長補佐, 埋蔵文化財担当主幹, 企画・文化財担当係長, 同係主査 新潟市文化財センター所長補佐, 同主査, 新津鉄道資料館副館長, 新潟市歴史博物館副館長, 新潟市文化財旧小澤家住宅館長
傍聴者	なし

＜会議録＞

1 開会（司会：歴史文化課・拝野課長補佐）	
2 挨拶（歴史文化課長 渡辺課長）	
渡辺課長	<p>歴史文化課長の渡辺でございます。文化スポーツ部長の長井が、本日は所用のため欠席させていただきますので、私が代わって挨拶をさせていただきます。</p> <p>本日は年度末のお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。委員の皆様におかれましては、日ごろ、当市の文化財保護行政に格別のご指導、ご鞭撻を賜り、厚くお礼申し上げます。</p> <p>本日の審議会では、最初に平成27年度文化財調査について、ご協議をいただきます。</p> <p>引き続き報告事項ですが、先般国の名勝指定との官報告示がございました「旧斎藤氏別邸庭園」、また、昨日県報告示があり、県教育委員会により新潟県無形民俗文化財に指定されました「白根大風合戦」について、次に「古津八幡山古墳」復元整備の終了と遺跡の全面オープンについて、最後に「角兵衛獅子」の囃子の復元について報告をさせていただきます。</p> <p>短い時間ではございますが、委員のみなさまの忌憚のないご意見をお聞かせ願いたいと思います。</p> <p>協議終了後は、ここみなとびあで開催中の「収蔵品展と新収蔵品展」をご覧くださいませ。収蔵品展は「新聞とにいがた」と題しまして、新聞とそれに関する資料をご紹介します。新収蔵品展は、2014年度に市民の方々からご寄贈いただいた資料をご紹介します。お時間の許す限り、ごゆっくりとご観覧ください。</p> <p>本日は、どうぞよろしく願います。</p>
事務局紹介（司会より名前、所属、職名を紹介）	
3 議事	
拝野課長補佐	<p>（配布資料確認、議事録の公開について）</p> <p>お手元に「第22期新潟市文化財保護審議会 第2回会議 次第」と書かれた冊子が1つ、古津八幡山古墳の遺跡の案内のチラシ、そして牡丹山諏訪神社古墳の発掘報告、以上3点をお配りしました。</p> <p>それから、本日の審議会はすべて公開とさせていただきます。また、本審議会の議事録をホームページにおいて公開する予定であります。予めご了承をお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入ります。ここからの進行は、池田会長をお願いいたします。</p>
＜協議事項＞ （1）平成27年度文化財保護調査について	
池田会長	池田でございます。新潟大学人文学部所属でございます。専門分野は民俗学です。よろしく願います。それでは、議事を開催します。まず、新潟市文化財保護調査について事務局の説明をお願いいたします。
入江副参事	【要旨のみ】今後の新潟市文化財保護調査について、平成27年度及び28年度の各分野の調査計画について説明。（現段階として分野別の2年計画で調査を行う。分野別の調査方法、担当、調査内容等の説明）この2年で調査する分野は、建造物、絵画・彫刻、古文書・書跡・典籍、考古資料、有形民俗、無形民俗、史跡・名勝・天然記念物の予定。
池田会長	只今の説明について、何かご質問やご意見がございましたら願います。

原委員	中野家文書は史料として大変重要なものであると理解しております。また長期間かかるものだと思います。ただそれだけにかかると他の史料調査が滞ります。何か、調査が必要な史料があった場合は、私や芳井委員に相談してもらえればと思いますがいかがですか。
入江副参事	ありがとうございます。中野家文書の調査中に、他の史料調査の必要性があった際には、すぐに原委員や芳井委員に相談させていただき、早急な対応につとめます。
森田委員	天然記念物の内、鉱物分野の調査の計画がこの一覧では見当たりませんが、どのようにお考えでしょうか。
入江副参事	天然記念物の内、鉱物分野の調査については、2年後以降に考えております。現在旧新津油田金津鉱場に関する調査を行っております。2年後以降に石油に関する鉱物分野の調査の必要性が出てくると考えております。
池田会長	調査を進める中で、さらなる調査の必要性が出てくることと思います。その際には、また臨機応変に対応してください。
入江副参事	わかりました。そのように対応いたします。
<報告事項> (1) 旧齋藤氏別邸庭園の国名勝指定について	
池田会長	次に、報告事項に入ります。最初に「旧齋藤氏別邸庭園の国名勝指定」についてご報告をお願いします。
小島係長	文化審議会が1月21日に旧齋藤氏別邸庭園の国名勝指定について文部科学大臣に答申されました。そして3月10日に官報告示され、正式に国の名勝に指定されました。名勝指定に伴い、国登録記念物としての登録は抹消されました。今後は指定の庭園を適切に維持していくための保存管理を行ってまいります。平成27年度は保存管理計画策定委員会を立ち上げます。管理は指定管理者制度で行い中央区地域課が担当しますが、庭園整備に関しては歴史文化課が担当いたします。
飛田委員	今回、国指定になって大変よかったと思いますが、国指定を祝って何か行事などは考えておられますか。
小島係長	4月に入って記念写真集を出す予定です。また、国指定記念の菓子や呈茶サービスを行う予定です。
<報告事項> (2) 白根大風合戦の県指定とそれに伴う市指定解除について	
池田会長	次に「白根大風合戦の県指定とそれに伴う指定解除について」ご報告をお願いします。
今野主査	昨日、3月24日に県報告示がなされまして白根大風合戦を含む3つの合戦（白根・三条・今町見附）が「越後の風合戦習俗」として一括県指定（無形民俗文化財：風俗慣習）となりました。以前より県指定への要望を白根風合戦協会が中心となってあげてきましたが、県でも文化財保護審議委員の方が2度調査を行いその価値が認められました。県指定に伴い、同日付で市指定は解除となります。三条・今町中之島と白根の風合戦の大きな違いは、三条・今町中之島は滑車を使い、糸を切るわけですが、白根は純粋に綱を引き合う合戦形式が特徴です。
池田会長	長い間の保存会の懸案だった県指定が実現してよかったです。
橋本委員	三条の場合は、三条風協会の読みはどう読むのですか。
今野主査	さんじょういか協会と読むはずでございます。
<報告事項> (3) 古津八幡山古墳の整備及び遺跡の全面オープンについて	
福地補佐	平成24年4月に暫定オープンした国指定史跡の古津八幡山遺跡（平成17年国史跡指定）は、古津八幡山古墳の復元工事完了（平成25、26工事）に伴い4月17日に全面オープンします。全面公開に合わせ記念企画展を弥生の丘展示館、文化財センター、新津美術館の3館で同時開催します。
相田主査	平成22年に古墳の用地買収が終わったため、それ以降に復元整備が行われてきました。県内で初めての古墳の復元整備になります。平成23～25年に古墳の確認調査を行いました。その調査成果に基づき、復元を行いました。現地表をいじらないことを基本としました。古墳の周りにも弥生時代の環濠が巡っております。
飛田委員	整備に時間がかかって大変だったと思います。大変広く、特に堅穴住居と古墳があるが、今後の維持管理はどのようにやっていく予定ですか。
福地補佐	平成27年度に史跡の保存管理計画策定委員会を立ち上げ、27年度・28年度の2か年にかけてで史跡の保存管理計画を策定していきます。その中で、こういった形で史跡を守りつつ活用していくかということについて議論を進めていく予定です。

池田会長	それでは、これから策定ということですか。
福地補佐	そのとおりでございます。
<報告事項> (4) 角兵衛獅子囃子の復元について	
入江副参事	市指定民俗文化財の角兵衛獅子のお囃子ですが昭和50年以降途絶えており、テープ再生での公演を余儀なくされてきました。このたび角兵衛獅子伝承活動実行委員会では、南区の特色ある区づくり事業を活用し、3年にわたり囃子の復元作業を行いました。第一段階、太鼓等の復元。第二段階、残された音源から囃子(笛・太鼓)、口上の復元を行いました。去る3月22日に囃子復元報告会を行いました。
小田委員	報告会に入江さんと一緒に参加しました。指定に際し、数年前から聞き取りを始め、茂手木先生の話の伺うと復元は大変な作業でした。よくぞここまでやったと思います。五線譜の譜面で完成ではありません。笛用・太鼓用など邦楽伝統の譜があってはじめてできることです。専門家が工夫し、それを伝承しようとする意志のある10名の方々が頑張ってくれました。舞を中心に囃子が合わせるのが本来の形。舞いやすくなったと聞きすばらしい成果です。さらに今後の稽古に期待しているところです。
芳井委員	映像を見ると私の知るイメージと違っていた。もっと軽業なのかと思っていましたがどうでしょうか。
小田委員	全盛期は軽業で、ハイレベルな芸であったが、最終的にはこういう形になっていった。門付の時は軽業もやっていたと考えられます。プログラムに掲載された絵は最近発見されたものだと思います。描かれた太鼓の構えや打ち方が今のものに近いと思います。
平山委員	復元された太鼓は大きいものと小さいものとあるようですが、これらの使い分けはどうなっていますか。
小田委員	小さい太鼓は、古い絵などを見ると舞い手が身に付けていました。ただし、難しい芸や、動きのある芸の場合はつけていなかったようです。それをどの時点で離れたかは不明です。今の舞との関連も明らかではありません。現物が残っていたため、太鼓だけは復元したという状況だと思います。
橋本委員	亡くなった方の生前のテープで舞っていたとのことだが、舞については昔の動画が残っているのでしょうか。記憶や写真を参考にしているのですか。
小田委員	渡辺さんは最後の親方で、土田さんらと共に保存会をつくり、指導に当たりました。親子三代で指導者しています。戦前の動画は残念ながらいまのところ見つかっていませんが写真などは参考にしています。練習については、小学生低学年は保護者が付き添い、マットなどで練習していますが、上達したら演目を教えています。
松岡委員	資料にあるように芸妓の舞として伝承され、土田さんはその流れをくんでいる。芸妓の舞になる前後で、かなり変わっているのではないのでしょうか。絵画や文学作品などに、かつての様子が描かれているはずですが、今後、歴史的なものと現状とを分けておさえる必要があるのでしょうか。
入江副参事	明治時代に断絶し、かなりの空白時期があるため、わからないところが多くあります。おっしゃるように、歴史的なことも調べていく必要があると考えます。
池田会長	今後、区づくり事業が終わっても、取り組みを継続してもらいたいと思います。
<その他>	
橋本委員	牡丹山古墳についてですが、教育活動の一環でリーフレットを作成しました。今後も調査を継続し、今年度報告書を出す予定です。
4 閉会	
拝野課長補佐	長時間にわたり慎重なご審議、ありがとうございました。今後とも、委員の皆様のご意見をいただきながら、本市の文化財保護行政を推進してまいりたいと存じます。以上で第22期新潟市文化財保護審議会第2回会議を終了いたします。 続いて連絡をいたします。新潟市歴史博物館では、「収藏品展・新収藏品展」を開催しています。この後、博物館の職員がご案内いたしますので、もしお時間が許しましたらぜひご観覧ください。本日はお疲れ様でございました。